

記憶障害に対する学習カリキュラムの紹介

はじめに

障害者職業総合センター職業センターにおいては、休職中の高次脳機能障害者を対象とした職場復帰支援プログラム、就職を目指す高次脳機能障害者を対象とした就職支援プログラムの実施を通じ、障害特性に起因する職業的課題への補完行動の獲得による作業遂行力や自己管理能力の向上、および職業的課題に関する自己理解の促進に資する支援技法の開発を進めています。

高次脳機能障害者の就労支援において記憶障害に関わる問題は取り組む必要性が高く、職業センターでは、これまでもメモリーノートやアシスティブテクノロジーなどの外的な補完手段の活用に係る支援技法の開発に取り組んできました。令和元年度および令和2年度においては、記憶のメカニズムの学習や内的な補完手段の学習を含む包括的な構成が特徴の「記憶障害に対する学習カリキュラム」の開発に新たに取り組み、本報告書にまとめました。

この学習カリキュラムは、オーストラリアで開発された記憶障害に対する学習カリキュラム「Making the Most of Your Memory」とこれに基づく医療機関 Epworth Health Care における実践をもとに、職業センターがこれまでに開発した教材も活用して国内向けに作成したもので、本報告書ではその内容と試行実施した状況を紹介しています。

本報告書が高次脳機能障害者の就労支援の現場で活用され、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

なお、本支援技法の開発にあたっては、神奈川リハビリテーション病院の青木 重陽先生をはじめとする職員の皆さまから、専門的知見に基づきご助言を賜りました。深く感謝申し上げます。

令和3年3月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター職業センター
職業センター長 望月 春樹

